

TS-M2M-0030v3.0.2

オントロジーベースのインターワーク

Ontology Based Interworking

アブストラクト：

本仕様書は、TS-0012 で規定している oneM2M Base Ontology を用いた、外部のシステムと oneM2M システム間の一般的な相互接続について規定する。

目次：

1 章 所掌範囲（目的）

本文書は、TS-0012 で規定している oneM2M Base Ontology を用いた、外部のシステムと oneM2M システム間の一般的な相互接続について規定する。

2 章 引用文献

3 章 定義、略語と頭字語

4 章 表記法

5 章 オントロジーベースの相互接続の紹介

本章では、オントロジーベースの相互接続に関する概念図やフローについて規定している。

6 章 オントロジーベースの相互接続時に用いる IPE の技術的規定

本章では、オントロジーベースの相互接続時に用いる IPE について規定している。

7 章 オントロジーにあるデータを oneM2M リソース化する XSD の作成方法

本章では、オントロジーから引き出したデータを IPE が oneM2M リソース化する際に作る XSD について規定している。

付則 A（情報）オントロジーベースのインターワーク例

本章では、他オントロジーを oneM2M Base Ontology で表現した後に oneM2M リソースで表す例を紹介している。

Summary：

The present document specifies Generinc Interworking of the oneM2M System with external systems (e.g. Area Networks containing non-oneM2M devices) that can be described with ontologies that are compliant with oneM2M's Base Ontology in TS-0012.

The present document specifies Generinc Interworking of the oneM2M System with external systems (e.g. Area Networks containing non-oneM2M devices) that can be described with ontologies that are compliant with oneM2M's Base Ontology, specified in oneM2M TS-0012 [3].

In oneM2M Release 2 the specification for Ontology based Interworking had been contained in clauses 8 and 9 of oneM2M TS-0012-v2.2.0 [4].